

OUR PHILOSOPHY

航空宇宙分野の重要部品・高精度製品を一貫生産 非破壊検査を含め徹底した品質・納期管理を実現します

日本の中小企業は、高度な加工技術や独自の開発技術をもちながら、品質保証体制や情報収集における課題がネックとなり、航空宇宙関連ビジネスに参入することが困難な状況でした。

弊社は2004年の創業以来、全国の中小企業、研究機関等の連携支援、および品質保証を行っており、培ったノウハウを基に、2013年より中小企業連携による「航空機エンジン部品共同工場」の運営、および一貫生産に取り組んでおります。

共同工場では、航空機産業に不可欠である「非破壊検査」において、国際航空宇宙産業特殊工程認証プログラム(Nadcap)を取得・維持するとともに、ニーズに合った検査を実施すべく、検査員の能力向上に力を入れております。

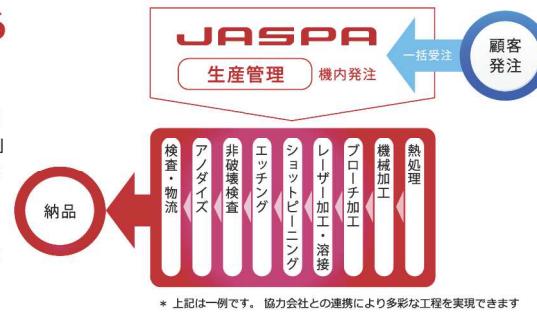
また、新潟市が支援する「NIIGATA SKY PROJECT」への参画企業との連携により、幅広い特殊工程への対応力も実現いたしました。それぞれの技術・開発力が連携によってさらに強力なものとなり、我が国の航空宇宙産業の基盤拡大と国際競争力の強化、中小企業のさらなる技術力向上と活性化に貢献できると信じています。

OUR SOLUTION

一気通貫のプロセスによる 高品質・短納期の実現

航空宇宙分野およびその他分野の部品加工・製造を一括受注、特殊工程や非破壊検査を含む「共同工場での一貫生産」によって、高精度製品をはじめとした加工・製造品の徹底した品質・納期管理を、高いレベルで実現します。

設計・製造・検査・試験を一気通貫で行うことによって、お客様のご要望、ご発注内容に即したコスト・技術・納期の最適な組合せをご提供します。



非破壊検査

非破壊検査(Non-Destructive Inspection)とは、検査対象物の形状や機能を損なうことなく内部のキズ、表面のキズ、あるいは劣化の状況を調べ出す検査技術です。弊社では、航空機部品の一貫生産を掲げて事業を展開しておりますが、重要工程である非破壊検査のうち蛍光浸透探傷試験(Fluorescent Penetrant Inspection)について、国際航空宇宙産業特殊工程認証プログラム(Nadcap)を2017年1月に取得し、検査を請け負う体制が整いました。^{*1}

非破壊検査技術の一つである蛍光浸透探傷試験は、特に表面に開口しているキズに対して検知性が高く、航空宇宙機器用構成部品の検査などにおいて広く用いられています。

また、浸透探傷試験(PT)、磁粉探傷試験(MT)、超音波探傷試験(UT)、放射線透過試験(RT)については、日本非破壊検査協会の認証を受けた検査員も在籍しているため、航空機分野以外で非破壊検査が必要なアイテムにおいても受託検査^{*2}することが可能です。

^{*1} NAS410(PT)レベル2検査員4名在籍



FACILITIES

共同工場概要

JASPA株式会社は、航空機産業でネックとなってきたノコギリ型の発注形態を解消すべく、複数の企業が一つ屋根の下で連携し、一貫生産を実現するための「共同工場」を設立しました。創立以来、中小企業や研究機関の連携支援を行ってきた弊社が中核となり、参画企業をとりまとめ、生産管理、品質保証体制を構築することで、航空機産業のさらなる発展に貢献します。

[工場面積] 約6000m²

JASPA共同工場



所有設備

共同工場主要設備



所有設備と最大能力

- [5軸マシニングセンター] YBM 10T-100TT (FMS 対応) x1500 y1400 z1400 mm
- [立型CNC旋盤] VTlex1100 (FMS 対応) φ1350×L835 mm
- [ディスクプローチ盤] 立型 160KN SV-16025MNC (ターピングディスク溝加工)
- [ショットピーニング装置] 直圧式エアーブラストマシン 台車タイプ DMD-111
- [バリ取りロボット] FANUC 6軸ロボット M-710iC/50
- [エッティング設備] 酸・アルカリ洗浄装置 W1500×D1400×H850 mm
- [非破壊設備] 蛍光浸透深傷試験装置 L1400×W1400×H550 mm
- [非破壊設備] 蛍光磁粉深傷試験装置 φ400×L1300 mm / 軸通電法
- [非破壊設備] 放射線透過試験装置 1056mm / 450kV
- [3次元測定機] 本体 Global Advantage 15.22.10 x1200 y2200 z1000 mm
- [搬送システム] FMSシステム

^{*2} 受託検査に関する詳細はWebサイト(www.jaspa.co.jp)をご参照ください